



学校キャラクター「ちびにゃん」



「輝け！橘っ子」通信

学校教育目標「ともに生きる力としなやかに伸びる力を持ち、たくましく夢を追求する児童の育成」
めざす学校「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」

いよいよ2月となりました。節分や立春を迎え、暦の上では春が近づいていますが、まだまだ寒さの厳しい時期です。そんな中、毎朝、橘西交差点では保護者や交番の方が子どもたちの登校を見守ってくださっています。心より感謝申し上げます。横断歩道を渡った後、子どもたちがしっかりと頭を下げてお礼を伝える姿を見て、地域の温かな思いが確かに届いているのだと感じました。こうした日々の関わりが、子どもたちの優しさを育てていくのだと思います。これからも地域と学校が力を合わせ、子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

3・4年生 JRC オンライン語部LIVEに参加

1月29日(木)、3・4年生が日本赤十字社宮城県支部のJRC オンライン語り部ライブに参加し、東日本大震災について学びました。語り部の菊池さん(宮城県釜石市)は、震災当時、中学3年生として学んだとおりにすぐ高台へ避難し、小学生の手を引きながら逃げた経験を語ってくださいました。また、地域の教え「いのちでんこ」と日頃の防災学習が命を守ったと伝えてくださいました。さらに「津波はいつ来るかわからない。家族との毎日を大切に、避難について話し合ってほしい」と子どもたちに呼びかけました。

子どもたちが学んだことを家族と共有し、いざというときに自分の命を守る行動ができるようになってほしいと願っています。



菊池さんのお話を真剣に聞いている子どもたち。



菊池さんに感想を伝える児童代表。

避難訓練&起震車体験をしました！

1月28日(水)、地震と理科室からの出火を想定した避難訓練を行いました。午前9時40分、緊急地震速報とともに揺れや物が落ちる音が流れ、子どもたちはすぐに机の下にもぐって身を守る行動を取ることができました。その後の避難指示にも落ち着いて対応し、運動場へ迅速に避難しました。

避難後は、徳島県立南部防災館の起震車で震度6弱～6強の揺れを体験しました。子どもたちはテーブルの脚をつかんで必死に耐えるなど、地震の怖さを実感したようです。体験後には「家具を固定しないと危ない」などの声が上がリ、防災への意識が高まっていました。今回の体験をご家庭でも共有し、日頃から防災について話し合うきっかけにしたいと思っています。



揺れを感じたらすぐに身を守る。



震度6弱から6強の揺れを体験。

防災カルタの読み札完成！

1月30日(金)の「のびのびタイム」の時間、全校児童が体育館に集まり、6年生がリードして全校児童で作成した防災カルタの読み札を各班で紹介しました。「ヘルメット頭を守り避難所へ」「揺れははじめの8秒で安全な場所へ」「見ておこう避難経路と避難場所」など、これまでの防災学習の成果が表れた読み札となり、工夫した点や良い点について話し合いました。これから絵札を作成し、今年度中には、全校児童でカルタ大会をする予定です。機会があれば、ぜひ保護者の皆様にも見ていただけたらと思います。



一人ずつ読み札を発表。



みんなで唱和してみよう。



札に込めた思いを伝える。



工夫しているところを見つけよう。

むかしの遊び交流会を実施しました！

1月30日(金)、1・2年生が地域の高齢者の方9名をお迎えし、昔の遊びを一緒に楽しみました。お手玉・けん玉・こま・めんこ・だるま落としなど、昔も今も子どもたちに親しまれている遊びに取り組みながら、笑顔で会話を弾ませる姿が見られました。あっという間の45分間でしたが、参加された皆さんからは「小さな子どもと触れあう機会があまりないので、本当に楽しかった」との声をいただき、このような交流の場の大切さを改めて感じました。ぜひ来年も来ていただき、楽しく過ごせたらと思います。ご参加いただき、ありがとうございました。



高速だるま落としにびっくり。



一緒にこまを飛ばしました。



こまのひもの巻き方を教わりました。



けん玉のこつを教える子ども。